

びふか 議会 です

こんにちは。

2011年7月号

発行 / 美深町議会 編集 / 議会広報委員会
〒098-2252 北海道中川郡美深町字西町 18 番地 ☎01656-2-1651
印刷 / 美深印刷



松山湿原登山の集い

ちよっと暮らして来町の瀬井さんも登山の仲間入り

白熱の論議 第2回定例会 …… 2～4

6議員が登壇 一般質問に …… 5～10

議員研修 北海道町村議会議員研修・議会運営委員会
町村議会新任議員研修・先進地視察研修 …… 11～12

委員会レポート …… 11 議員投稿・政務調査費報告…13
私からのメッセージ …… 14

第78号

第2回定例会



平成23年第2回定例会は、6月15日から23日までの会期で開かれ、条例の制定1件、条例の一部改正4件、規約の変更1件、補正予算5件、報告1件、同意2件、諮問1件、推薦1件について審議した。

補正予算を慎重審議

山口町政 政策予算

原案可決

一般会計補正予算(第2号)は、5億6、384万5千円を追加し歳入歳出予算の総額をそれぞれ、43億8、594万9千円とした。

主な内容

報徳施設移住対応住宅改修工事請負費
 老人福祉施設設計業務委託料
 美深育成園舎改築事業補助金
 畑作振興事業補助金
 美深中学校施設整備基本設計業務委託料
 山村留学親子住宅建設実施設計委託料

移住住宅 不便ではないか

質問 報徳の移住対応住宅工事請負費について、この地域は豪雪地帯でもありまた寒冷地それから交通の便は、冬期間は不便なところではないか。
 夏の期間だけ利用する考えなのか。



元 報徳公民館

企画グループ主幹

改修を終え、一応1年間活用する考えである。

質問 今後も未利用な町有施設が出てきた場合は、率先して移住対策の方に整備していくのか。

総務課長 今回整備すると町の中1戸と農村1戸。その2戸で対応する。

スプリングクラ 整備事業費と 補助は

質問 グループホームびふかのスプリングクラ整備事業費はいくらで、補助金はいくらなのか。

保健福祉グループ主幹 総事業費は66万7千円で、これに対して補助金が603万9千円という内訳になっている。



グループホームびふか

老人施設の規模と概要は

質問 老人施設設計業務委託料とあるが内容は。

建物は2階建てなのか、平屋建てなのか。

住民生活課長 町長

が一般質問での答弁で、老人憩の家の機能、さらには将来を見据えた公衆浴場・コミセンの機能、これらの複合施設を想定しながら建物については鉄骨で平屋建

て。

面積は、1、000㎡程度を想定する中で今回、2、150万円を計上した。

質問 老人施設にか

かる用地買収の地権者との折衝は、どのようになっているのか。

副町長 用地買収の

件は、交渉事であり議案として提案する以上は地権者との一定程度の交渉は進めている。



花が咲き始めた町内いも畑

ポテトハーベスター整備の背景は



導入されるポテトハーベスター

質問 畑作振興費の

関係で、初冬時きは普及の傾向にあり、面積も増えているので理解できるが、ポテトハーベスター収穫機の整備の背景は。

農業グループ主幹

馬鈴薯の作付けは年々減少傾向にあり、今年はJA分で61haの作付けに激減している。

現在小池屋のポテトチップスの原料に、今後静岡の山崎食品

のポテトサラダの原料の受注もあり最低限70ha以上の作付けが必要。

新たにJA北はるか馬鈴薯生産部会が設立され、適地適作の馬鈴薯の作付けを何とか維持振興していきたい。

単身者住宅の概要は

質問 単身向け住宅設計の概要は。

管理グループ主幹

場所については、現在空き地の町有地を検討している。規模については、8戸2階建て木造を予定している。

中学校の設計に給食センターが併設されるのか

質問 美深中学校の基本設計業務委託料の関係で、この施設

の基本設計の中に学校給食センターが設置されるのか。

教育長 具体的な議論が必要になってくると思っており、その中で町民含めてどういう考えに立つか整理しなければならぬ。

給食に踏み出す方向に立った場合は、この設計の中で対処する。

育成園改築は過疎債によるものではないのか

質問 町債の中で、児童養護施設整備事

業債ということでは育成園園舎改築事業補助金を措置しているが、3月定例会では過疎債として計画していたのではなかったのか。

総務課長 過疎債の計画の中に、実際、事業としてあげていない。

上川総合振興局に担当者とも相談しながら進めてきたが、決定後、再協議をしたところ対象には難しいという事になり、今回、児童養護施設の町債に振り替わった。

〔全員賛成〕

ことば字典

【過疎債】とは
過疎地域に該当する市町村に限り発行が認められる地方債（借金）。現時点でその70%は、国から地方に交付税として返ってくる仕組み。つまり地方は、借金の30%だけを負担すれば良いことになる。

【町債】とは
町民の皆さんが幅広く利用できる福祉施設や、道路の新設・整備など、大規模な建設事業の財源として、国や銀行等からの借入金のことである。

後期高齢者医療 保険特別会計 補正予算

6万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を6、246万6千円とした。

【主な内容】

平成22年度の保険料確定による追加。
〔全員賛成〕

介護保険特別会計 補正予算

320万円を追加し、歳入歳出予算の総額を4億5、14

0万円とした。

【主な内容】

高額医療合算介護サービス等負担金の増加による。
〔全員賛成〕

簡易水道事業特別 会計補正予算

42万円を追加し、歳入歳出予算の総額を4、472万円とした。
〔全員賛成〕

【主な内容】

修繕料の増額による。(報徳七重橋水道管漏水関係)〔全員賛成〕

人権擁護委員候補者の 推薦に適任と答申

浅水 弘子 氏
平成23年10月1日
～平成26年9月30日

新任

農業委員会の委員となる べき者の推薦に同意

荒谷 和江 氏
平成23年7月20日
～平成26年7月19日

2期目

7期目



中山 優 氏
平成23年6月27日
～平成26年6月26日

固定資産評価審査委員会 委員選任に同意



仁木 利治 氏
平成23年6月27日
～平成26年6月26日

新任

水道事業会計 補正予算

収益的支出の予定額を483万円増額した。

【主な内容】

菊丘浄水場耐震診断業務委託料500万円の追加。
〔全員賛成〕

例 変更など 決 可 条 規約

定住自立圏形成 協定の議決に 関する条例

定住自立圏形成協定を締結・変更・廃止通告を議会が議決することを条例で定めるもの。〔全員賛成〕

美深町税条例の 一部改正

東日本大震災の被災者等の負担軽減を図るため、特別措置等を講ずることとした地方税法の一部を改正する法律を受けて、美深町税条例を改正するもの。
〔全員賛成〕

国民健康保険税 条例の一部改正

税制改正に伴う地方税法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、美深町国民健康保険税条例を改正するもの。
おもに、低所得者の負担軽減のため課税限度額の増額で対処する内容。
質問 課税額の増額により、徴収総額の変化は。
税務グループ主幹 影響がある世帯は、延べ135世帯、増額分160万円を見込んでいます。
〔全員賛成〕

保健師等人材 確保条例

従前の保健師・看護師の対象枠を、准看護師・介護福祉士を含めた養成者枠の拡大と貸付額の増額で、町内における就業の促進確保を図るもの。
質問 地元での、優先的な採用はとれないか。
住民生活課長 求人環境と本人の意向など難しいところがある。人材育成という役目も担っている。
〔全員賛成〕



ますます重要になる保健師の活動

名寄地区介護認定 審査会共同設置 規約の変更

介護認定者の増加に伴い、審査委員の負担軽減と適切な処理のため増員をはかる内容。
質問 具体的な内容について。

保健福祉グループ主幹 介護認定が年間40件ほど増加している。審査会は、4合議体6名で進めているものを、6合議体5名編成の体制で進めるもの。
〔全員賛成〕

財産の交換、譲与、 無償貸付け等に関 する条例の一部改正

旧美幸線跡地のうち農地転換した土地について、将来にわたって適切に処理する必要から条例に明文化を規定するもの。
〔全員賛成〕



南 和博 議員

一般質問

1 町政執行方針について

問

まちづくりの
ビジョンは

答

総合計画に
基づいて

質問 改選後初の町政執行方針に対し、以下の点について。
① 定住自立圏構想のわが町へのメリッ
トは。
② 美深農業の将来ビ
ジョンは。
③ 商工業振興と企業
誘致策について。
④ 移住・定住対策に
ついて。



複眼型定住自立圏に一步

点を置き、土地利用型作物を中心とした輪作体系を維持し付加価値の高い農業育成で持続的農業を目指す。
商工業振興については、地元出身者経営の企業誘致が現実味をおび、雇用の確保と遊休町有地の改善が期待される。さらなる振興策のために「元気なまちづくり創造委員会（仮称）」を立ち上げ進める。

問

学力向上と
スポーツ振興は

答

生活リズムの
正常化から

移住対策については「ちよつと暮らし」の推進事業の中で3組6人の方が体験し内1人の方が移住されておられ、さらに報徳地区の施設を改修して移住体験住宅を整備する。
多様なニーズを見極め、将来的には専用住宅の建設も視野に入れながら人口増加に努めたい。

質問 美深の子どもたちの学力は全道の中間値と聞くが向上策は。
また体育振興の今後の課題は。
教育長 学力向上策については、まず生活リズムの正常化、



楽しく体力づくり

問

給食実施
するのか

答

前向きに
検討

読書の機会増、子どものレベルに合わせた個別指導、先生方の研修支援を考えている。
体育振興については、全国的に評価されている総合型地域スポーツクラブ事業などにより、全国からの人的交流とこれによる経済効果も評価しており今後これを核に進める。
課題は、指導者の確保育成。
関係機関と総合的に協議し方向性を出す。

質問 給食問題については、山口町長は実施に向けた考え方にわかってきたように思うが、今任期中に実施するのかしないのか。
教育長 幼児センターが完全給食としていることから給食を望む声が増えている。また、美深の子ども達の体格が比較的小さいとの声もあり、一定の検証した結果、一歩前に出る形で具体的な検討が必要ない時期にあると考える。

町長 近々計画している中学校舎の改築の中で、給食施設を合わせて考えられないか、前向きに検討したい。

一般質問



岩崎 泰好 議員

- 1 山口町政1期目の検証と、これからの「まちづくり」の手法について
- 2 東日本大震災への対応と、安心安全のまちづくりについて
- 3 予防医療の充実がもたらす健康長寿と医療費の削減効果について

問

役場職員の意識改革は

答

課題に一步踏み出す行動を

質問 山口町政1期4年間の実績と評価、特に役場職員の意識改革はどのように実効があったのか。

町長 自らが気づき課題解決のために行動する職員づくり、状況を正確に把握し問題と課題を整理し何が必要か一歩踏み出すことが大事という意識改革を職員に求めてきた。

問

防災端末の利活用は

答

有効活用を望む

質問 第5次総合計画の進展には、住民と行政のかかわりが



重要。積極的な情報の公開と公聴が欠かせないが、現状と今後の具体的手法は。ホームページ更新にあたっての責任体制、さらに、4月から稼働した防災端末機を情報伝達の手段として積極的に使うのか。

町長 インターネットは便利な道具ではあるが、情報手段と

して万能ではなく、広報の配布・新聞の折り込み・情報端末機が有効。

今後どう発展させていくのか検討を加える。

問

大震災への

対応は

答

一定の支援は行った

質問 東日本大震災への対応について、これからの支援体制についての考え方は。

町長 義援金の受付、支援助資の提供、避難住宅の準備・義援金見舞い金の支出・町民からの支援助資の受け付け等、緊急対応は行った。

これからの取り組みについては、職員の派遣要請など町村会を通じ対応する。

問

高齢者肺炎球菌ワクチン補助の

答

予防医療の一層の充実を

質問 予防医療の充実がもたらす健康長寿と医療費の削減効果は大きく、高齢者への肺炎球菌ワクチンの接種に今回補助金を出すことへの予算措置の経緯と考え方は。

町長 予防医療として一層の充実を図ることが非常に重要だと考える。

肺炎は、本町の死亡原因では非常に高く第6位で、特に70歳を過ぎてからは死亡率が高くなる状況。実態を踏まえて、公費助成で高齢者の健康を守る取り組みを行っていく。



4カ月経った現地
気仙沼
(7/17撮影)



諸岡 勇 議員

一般質問

- 1 農業の振興について
- 2 企業誘致の具体的な活動について

町長 国の基盤強化促進法に道が5年ごとに10年後を見通す新たな方針は、23年

質問 農業経営基盤強化促進基本構想が平成13年に出されているが、見直し作業に入るのか。
美深農業の持続的発展に課題は何か。担い手の育成確保に行政支援をどの様にするのか。
高付加価値化の推進で、現場の課題をどう捉えているのか。
農業研修生の宿舎建設は、具体的にどのような考えか。

問

美深農業の持続発展のためには

答

支援条例の積極活用

9月に策定する予定。農業持続の課題は、平成2年から20年間で農家戸数が228戸減少し、少子化と他産業への流出、後継者のいない農業経営者の高齢化で離農へとつながる。担い手確保で新規

就農に対して条例に基づく支援、地域担い手育成協議会・支援協議会の活動などで課題に取り組み。消費者そして商業者・観光業という連携と地産地消の販路拡大が大事な事。農業者から支援を求められたら積極的に応援する。寄宿舎は、恩根内1戸・市街地1戸を活用している。農業体験実習生、新規就農希望者に農業振興センター隣接地に整備したい。



整備予定地に隣接する農業振興センター

問

企業移転計画は

答

道との連携で立地

質問 企業誘致で若手企業家の移転計画と本格創業はいつか。医療器具製造販売の規模と建設予定地はどこか。
会社の内容を事前に町民に知らせる時期は。
また、誘致活動をどう進めるのか。

町長 企業家から簡易な移転計画の概要書が出され、企業立地の協議をする。
平成17年に有会社、22年に株式会社組織変更。
3億6千万円程度売上実績があり、建設規模300坪程度の施設になる。



候補地となっている駅東工業団地

駅東工業団地が候補地で住民説明は会社・行政の責任で行ない、道との連携では、上川総合振興局と積極的に取り組む。

一般質問



小口英治 議員

1 第5次美深町総合計画について



有効な空き地利用を

問

商店街の再生は

答

街中に複合施設を

質問 商店街の賑わい再生事業について、美深福祉会運営の「かせる交流ステーション」が実証実験2年と言う区切りで始まっているが、その後の高齢者活動の拠点等をどの様に進めるのか。

町長 町なかに地域の生活の場と人の流れをつくり出すため、老人憩の家・公衆浴場・コミュニティセンターの機能を持たせた複合的施設を計画。

元気なまちづくり委員会を今月中に立ち上げ、目線を高くしてメンバーの選出は具体的な相談が出来る方々で、24年度に実施できる方向で。

問

単身者向け住宅の現状は

答

ニーズが高く賄い付きの住宅を

質問 24年計画の単身者住宅建設だが、現状と都市部からの移住希望者に対応した住宅確保対策の中身は。

町長 特高賃住宅が12戸、単身住宅が24戸でいずれも満室。美深高校の事もあり賄い付きの単身者住宅を整備。ゆくゆくは高齢者向けの住宅の整備等々を考えている。

問

人口減の中、財政的にも必要か

答

不確定要素もあるが実施の方向

質問 学校施設整備計画について0歳～14歳までの人口が平成32年推定で北海道未来研究所と多少のズレがあるが、これから始める第5次総合計画では290人しか残らないと言う想定であり、25年度



改築待たれる中学校

計画段階は、5億円の中学校整備計画が掲載されているが、当町の財政規模からどのように考えているか。

教育長 財政的な視点から色々と異論もあると思うが、規模的には改修工事を実施した小学校の改修工事と同規模で予定。まだ不確定要素もあるが、計画を進めたい。



現状の単身者向け住宅

一般質問



藤原 芳幸 議員

- 1 少子高齢化と人口減少が進むなか自治会のあり方について
- 2 COM100敷地内の野外ステージの利用について

質問 町民運動会や敬老会など、行事の内容を検討する時期にきているのではないか。

一方で役員が中心的にコミュニケーション活動に精力的に取り組んでおり、力強く感じている。

町長 これまで地域のリーダーとして役割を担った方々が高齢化になっており、後継者への交代が必要になっている部分も相当あるのではないかと心配をしている。

質問 少子高齢化と人口減少が進んだ今、自治会の現状をどのように把握しているか。



新年度の活動を協議

町長 伝統ある運動会、さらにはソフトボール、ミニバレーボール大会はそれらに向けた取り組みが町の活性化の動きに繋がることもあり継続していきたい。

町長 伝統ある運動会、さらにはソフトボール、ミニバレーボール大会はそれらに向けた取り組みが町の活性化の動きに繋がることもあり継続していきたい。

問

自治会の現状は

答

役員の高齢化

中でも協議していた
だき、具体的な相談
があれば受けたい。

質問 これからの自治会活動を考えたとき、町の社会福祉の一端を補完する必要が生じてくることも考えられる。

町長 自治会再編をする場合、民生委員等の役員選出において制度上、考えなければならぬことがある。

町長 すでに合併した自治会もあり、各単位自治会や自治会連合会で、一緒になって課題を出し合いながら検討する場がほしい。

問

COM100敷地の利用について

答

制約があり難しい



活用が望まれる野外ステージ

質問 COM100敷地内の野外ステージに桜の木を植えて花見の出来る憩いの場に再整備をしては。

町長 COM100周辺は都市公園の認可を受けて整備を進めてきた経緯があり、制約がある。

町長 COM100敷地内の野外ステージに桜の木を植えて花見の出来る憩いの場に再整備をしては。

植樹に関しては施設を作る段階から議論してきた経過があり、冬の雪置き場を使用する関係もあり、樹木を少なくしているため、桜の植樹は難しい。

一般質問



山本 進 議員

- 1 少子高齢化と、それに伴う人口減少への対応について
- 2 職員の意識改革、行動改革への取り組みについて
- 3 農業振興策について

問

人口減少への
対応は

答

持続可能な
まちづくり

質問 少子高齢化に伴う人口減少は、高齢化比率が上がり、老人世帯や独居老人が増加し、医療費・介護費増が若年層の負担を押し上げている。

現在のインフラを人口減少で維持していけるのか。

町長 人口減少に伴い、町の財政にも心配がある。

国等の対策と相談しながら、国や道の制度を活用し地域の皆様にご理解・納得していただき、持続可能な町としてがんばっていく。

問

意識改革の取り組みは

答

サービスの向上が人材育成の

基本方針

質問 住民満足度の高いサービスの提供に向けた職員の意識改革・行動改革について。

住民に安心を与え信頼される職員の養成を今後どのように進めるのか。

町長 新たな取り組みとして、町民の方と一緒にリーダーを養成する人材育成研修事業を立ち上げ、研修報告会を開催した。

参加した町民や職員に好評で、行動力ある職員を育て意識改革に取り組み、町民に信頼される職員づくりを進めていく。



人材育成の新たな成果

問

今後の農業振興策は

答

J Aと連携して講ずる

質問 農業の現状認識は。

第4次総合計画と第5次総合計画の農業振興策での違いは何か。

今後の振興策について付加価値を高め、た生産販売の強化等、新しい発想での強い農業の展開が必要でないか。

町長 継続が大部分である。課題は経営者の高齢化、後継者不足。

担い手が環境と調和した生きがいのある活躍ができるように努める。

J A北はるかのかの地域振興計画等をマッ



自ら付加価値をつけて

チさせながら、連携した振興策を講じていく。

農業者が自ら新しい発想で意欲的に取り組みたい、模索したいというものには積極的に支援する。

委員会 レポート



新しい委員会構成(5名)で顔ぶれも刷新しスタート。

常任委員会とは町民からの請願陳情の審査や所管事務調査があり、時には改善を求めたり、政策提言を行うのが所管事務調査。

今期から、所管事務調査については、より掘り下げた調査にするべく、事前の「委員会協議会」を開催して委員間で調査事項の共有を図り、委員会当日に向けた念入りな調査に取り組む。

産業教育常任委員会

調査事項

- 美深中学校改築・改修事業計画の現状と課題
- 仁宇布小中学校耐震などの現状と課題
- 快適住まいづくり事業の実績内容と課題、展望
- 危険家屋の調査
- 農業経営基盤強化促進基本計画の見直し作業について

総務住民常任委員会

調査事項

- 各自治会の実態と活動状況
- 地域担当職員の活動状況と課題
- 自治会自主防災組織の現状と課題
- 国保会計の運営状況と課題
- 介護保険事業の運営状況
- 老人福祉施設の建設内容の聞き取り調査

〈委員会は公開です〉

住民に最も近い

議会とは 町村議会議員研修会

平成23年度道町村議長会主催の議員研修会が7月5日に札幌で開催。

東京大学、先端科学技術研究センター教授御厨(みくりや)貴氏からは、「今後の政党政治の行方」と題し「東北大震災復興構想会議で2大政党の攻めぎ合いのなか、菅政権への協力

体制が組みまわれない等、民主党政権の本音はどこにあるのか、財源問題などに容赦なく批判があり不信任決議案が出されて「若い世代に政権をゆだねる」発言



後の行方はどう進むのか、過去の宮沢・小泉政権担当者の特徴をあげて解説。
経済評論家内橋克人氏は「今後の日本経済展望」と題し90年代、10年続く不況、世界の不況と日本経済への影響内容に触れて解説、目指すべき経済の理念、考え方はどうするか。また具体的な海外の穀物等食料自給率にふれ現在のエネルギー問題等分析された。

議会運営の

イロハを研修

議会運営委員会

改選後、構成が一新された議会運営委員会が6月27日研修会を実施した。

北海道町村議会議長会を訪れ、事務局長・勢籟(せはた)了三氏から今年の統一地方選挙の結果から特徴的なこと、地方自治法の改正による

議会制度の改革、議会の諸事例などの講義を受け、議員の責務・議会のあり方・議会運営の基本について研鑽。

翌日、空知管内沼田町の「雪」利用の事業を展開している生涯学習センター・米穀低温貯留乾燥調製施設・シイタケ栽培施設を見学し、省エネ、地球温暖化防止の取り組みに感服。

町村議会

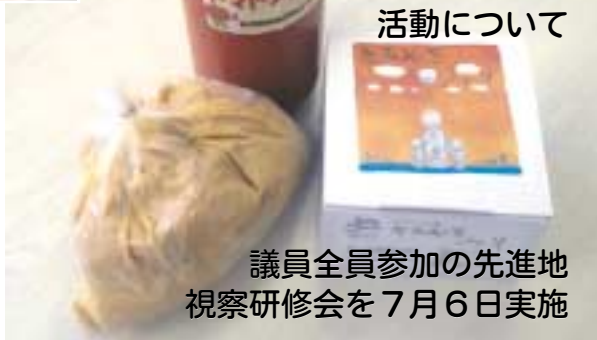
新任議員研修会

今年度の新任議員研修会は7月13日、札幌市で開催され今回の町議選で初当選した山本議員、藤原議員が受講した。議員の基本使命、会議原則等について講習を受けた。再度、気持ちを新たにしたい会場の後にした。

喜茂別特産品加工グループは、平成9年年会費2千円の会費制でJA女性部・商工会女性部・市街地婦人部から発足した。



人口2,500人の羊蹄山のふもと喜茂別町内にある女性4団体で構成している喜茂別特産品加工グループの活動について



議員全員参加の先進地視察研修会を7月6日実施

を夏祭り等で販売したが、のちに農業普及員の指導の下で「付加価値をつけ売る商品」づくりをめざし、知識の学習会も重ね本格的に営業許可を取得し、味噌・トマトジュースを主体とし販売に力を入れた。

現在会員17名となり、会費3千円で運営している。

経営も安定し、わずかであるが利益還

元もしている。この間、製造器具の購入及び味噌のパッケージ作製等の初期投資に対し、町の補助金の交付を受けた。

自慢の味噌は学校給食にも

すべて手作りという自慢のみそ(きらめき味噌)は、内外からのファンも多く

また学校給食にも導入されている。

現在事業は順調であるが、会員が高齢化しており後継者づくりが今後の課題と表谷代表は小さくつぶやいた。

異業種の女性たちによる地道な活動が町の一次産業の下支えをしている姿に、「わが町にも」との思いを胸に視察地を後にした。

**自治功労25年表彰
藤守議員が受章**

さわやかな表情で倉兼議長から賞状を受ける藤守議員



北海道町村議会議長会表彰規定に基づき、自治功労表彰を藤守千代子議員が受章した。これは、町村議会議員として25年以上(議長換算を含む)その職にあった功績に対して贈られた。



越智清一氏



今泉常夫氏



村山 勲氏



菅野勝義氏



庵 宗訓氏

退職議員表彰 5氏に

4月の任期満了に伴い、長年、地方自治の発展に尽力された越智清一氏(3期12年)今泉常夫氏(3期12年)村山勲氏(3期12年)菅野勝義氏(3期12年)庵宗訓氏(1期4年)の5名の方々に、第2回定例会にて、その功績に感謝の意をこめ、議会から表彰状を贈呈した。

議員投稿



小口 英治 議員

町民と議会の 共同作業が 次の課題

早いもので4月24日執行の町議会選挙も終わり、第2回定例会も2人削減の11名での新体制で始まった。

12年ぶりの選挙を振り返り我町の町づくりに対しての熱気と期待感を感じたのは全議員共通の認識だと思う。今年の統一選挙全道改選町村数100のうち無投票の町村が34町村で、定数に達していない町村もあった。1町村平均の議員数が我町と同じ11名で報酬(月額)も175,445円、年間一般質問の人数は19.8名(美深18)。

いつも自問自答している事がある。それは住民の代表としてしっかりと民意を代弁しているか否かである「民意とかけ離れた議会」なら議会も不要だろう。住民の意向を反映した質問、提言など理事者と競えるだけの能力も必要となる。それが、自分はどうかと言う1点です。しかし住民も1票を投じた責任・義務も生じる、課題やら要望などしっかりと議会に反映させているかなど有権者も議会や議員に関心を持ってほしい。そして支持をした議員に、その議題に対し、賛成か反対の考えくらい聞いてほしい。そして自分の意思と重ねて考え方を聞いてほしい。

普段あまり感じていない安心安全が東日本大震災によって、もろくも崩れ去った今、さらに情報共有の中から共にまちづくりに寄与したい。

美深町議会議員に交付される政務調査費は、議員一人当たり年額15万6千円。議員自らが町の政策研究のため使途基準に基づいて運用され、決算時の残額は町に返納する。

平成22年 政務調査費 の 使い道

平成22年度の政務調査費収支報告書で13議員合計では交付額の23%強の47万8千円が返納された。その使途の内訳は、調査研究費の支出が交付額の48%で次に資料購入費で16%、事務費10%、資料作成費、研修費、会議費が6・5%となり、使用額では前年比5万円の増であった。

平成22年度政務調査費収支一覧表

(単位：円)

議員名	交付額	使用額	返納額
林 寿一	156,000	94,931	61,069
村山 勲	156,000	106,451	49,549
南 和博	156,000	154,065	1,935
小口 英治	156,000	176,379	0
今泉 常夫	156,000	182,917	0
中野 勇治	156,000	55,063	100,937
庵 宗訓	156,000	105,620	50,380
菅野 勝義	156,000	161,291	0
諸岡 勇	156,000	138,187	17,813
齊藤 和信	156,000	138,315	17,685
倉兼 政彦	156,000	204,945	0
越智 清一	156,000	132,465	23,535
藤守千代子	156,000	0	156,000
計13名	2,028,000	1,650,629	478,903

監査 中山 勇
幹事 本 治
幹事 岩崎 泰進
幹事 齊藤 和好
会長 藤守千代子
議員 役員
4 ページ
委員長 中野 勇治
3 ページ
議会運営委員会
2 ページ
訂正
議会広報77号に誤りがありましたので、正しいものを掲載いたします。



★ ★ ★ 私からのメッセージ ★ ★ ★

「今日が一番若い日」



(第3町内会) 栗田富太郎さん

皆さん初めまして、私は昨年7月に夫婦で美深町に移住してきました、栗田と申します。生まれも育ちも愛知県産の夫婦です。会社を定年退職後一大決心してこちらに来て、散々脅かされた厳しい冬も無事クリアできました。この一年美深町の親切な人達と知り合いになれ、美味しい野菜や魚を食べて満足しています。定年が近づく中で、私が出合った言葉「今日が一番若い日」のことについてお話しします。人生の中で、絶対に避けられないことが2つあります。

どんなに金持ちでも、身分の高い人でもこの世に生まれることと、死を迎えることです。若いうちは生まれてから、積算法に考えて「何歳になります。まだ若いねえ！」と言われます。

定年が近くなる年になると、もう自分の人生は、これで終わりと思ってしまう。その時「ウイリアム・ホークナー」の「時計が止まるとき、時間が生きる」の中にある言葉で、積算的人生から死までの逆算的人生に考えを変えると、実は人生の中で「今日が一番若い日になる」ではないか？今日が一番若い日であれば、実に貴重な一日となります。私は、こんな気持ちで毎日を楽しんでいます。みなさんも今日から「今日が一番若い日」を私と一緒に楽しみませんか？

「インターンシップを通して」



(第4町内会)

三好愛美さん

私はインターンシップで役場に行かせていただき、実際に職場で働くという経験をしてきました。

仕事をしてみて、働くということの大変さや責任感もありましたが、仕事が終わったときの達成感があり、仕事の楽しさを知りました。

一般の人が入れないような場所にも行かせてもらったり、議会の傍聴など貴重な体験ができました。

そして、以前はあまり気にすることのなかった「あいさつ」・「敬語」・「礼儀」・「元気さ」の大切さを改めて知ることのできた良い機会になりました。

これらのことは、役場の仕事だけでなく、他の仕事や普段の生活からも大切なことなので、これからは今まで気にしていなかったことを、今からでも出来るようにしていきたいです。

この2日間はとても充実していて、良い経験になりました。

「傍聴した感想と美深町への不満」



(大手自治会)

武田基宏さん

今回のインターンシップで初めて議会を傍聴しました。実際に見て、本当の議論というものを理解できたような感覚になりました。

しかし、傍聴席には思ったより若い人がいなかったのが驚きました。

次に美深町の不満についてですが、最近ゴミのポイ捨てが気になっています。登下校時などにタバコの吸い殻が目立ち、せっかくの豊かな自然が台無しになっています。このポイ捨てをなくすために町民一人一人が意識してもらえるようポイ捨て禁止のポスターを町中に貼るなど色々な対策をしなければならぬと思います。

まだ町には問題は多いと感じますが、このポイ捨てについては比較的、すぐに直せるような問題だと思います。とは言うものの町民全員が意識しなければ直すことが出来ません。町民みんなで協力してゴミのポイ捨てをなくし、最終的にゴミが一つもないような町になってほしいと思います。

6月22・23日、美深高校生2名が役場でのインターンシップ(就業体験)のとき、定例会を傍聴していただいた。

編集後記

第2回定例会は、一般質問に新

人議員を含め6人が登壇し町長の所信を問うた。

改選後初めての定例会ということもあり、傍聴席も大勢の町民で埋め尽くされ、議員も理事者側にも緊張した空気がみなぎった。

「初心忘れることなかれ」を胸に4年間勤めたいものである。

夏本番とは言い難いうとうしい長雨が続き、農作物に被害が出ないかと心配しつつ「議会広報」が議会と町民のパイプ役となるよう編集に汗した。

ご意見をどうぞしお寄せください。

委員長 岩崎 泰好
副委員長 諸岡 勇
委員 齊藤 和信
藤守千代子

山本 進
藤原 芳幸